

安全データシート (SDS)

1 製品及び会社情報

製品の名称

製品名 モノタロウ 万能補修パテ

会社情報

会社名 株式会社 MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX 番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M161005

推奨用途及び使用上の制限

一般工業用途

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 1
皮膚感作性 区分 1
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 1（呼吸器）
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1（呼吸器）

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性） 区分 2
水生環境有害性（長期間） 区分 2

この混合物の約 70%は水生環境有害性が不明である。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

重篤な眼の損傷

呼吸器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

[安全対策]

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱後はよく手を洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急措置]

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

直ちに医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

漏出物を回収すること。

[保管（貯蔵）]

施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

重篤な眼の損傷

呼吸器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂 (液状) (平均分子量 <700)	25068-38-6	7-1279	10-20
滑石 (タルク)	14807-96-6	-	20-35
非晶質シリカ	60676-86-0	1-548	15-25
2, 4, 6-トリ (ジメチルアミノメチル) フェノール	90-72-2	3-714	1-3
炭酸カルシウム	471-34-1	1-122	15-25
ポリエーテルポリメルカプタン	-	-	-

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	大量の水と石鹸で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で 15～20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。意識のない場合は口から何も与えないこと。

予想される急性症状

情報なし

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性

火災等の場合は、毒性の強い分解生成物（炭素酸化物、アルデヒド、酸、硫黄酸化物、窒素酸化物）が発生する可能性がある。

特有の消火方法

消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散した物を掃き集めるか、真空掃除機で吸引する等できるだけ飛散発じんしないようにして、空容器等に回収する。
取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
安全取扱注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
接触回避	情報なし
衛生対策	汚染された保護具は洗浄する。 汚染された作業着は再使用する前にクリーニングすること。

保管

技術的対策	保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。
混触禁止物質	酸化剤、酸、塩基、アミン
保管条件	低温で充分換気された場所に保管する。保管温度：＜32℃
容器包装材料	空容器でもラベルの注意書きに従うこと。空容器の再利

用はしないこと。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

$E=3.0/(1.19Q+1) \text{ mg/m}^3$ (Q:当該粉じんの遊離けい酸含有率 (%))

許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

ACGIH TLV-TWA (2016) 2 mg/m^3 （タルク）（石綿不含有、結晶性シリカ<1%）（吸入性粒子）

日本産業衛生学会（2015） 0.5 mg/m^3 （第1種粉塵（タルク）、吸入性粉塵）

2 mg/m^3 （第1種粉塵（タルク）、総粉塵）

設備対策

粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。38℃を超えた場合、局所換気を行う。

保護具

呼吸用保護具	粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	不浸透性の保護手袋を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

9 物理的及び化学的性質

外観（物理化学的状態、形状、色など）	灰色～黒色パテ
臭い	情報なし
臭いの閾値	情報なし
pH	情報なし
融点・凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	情報なし
蒸発速度	情報なし
燃焼性	情報なし
燃焼範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	不揮発性
比重	2.18
溶解度	水：不溶
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度	情報なし

10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	35℃を超える温度
混触危険物質	酸化剤、酸、塩基、アミン
危険有害な分解生成物	火災等の場合は、毒性の強い分解生成物（炭素酸化物、アルデヒド、酸、硫黄酸化物、窒素酸化物）が発生する可能性がある。

11 有害性情報

製品の有害性情報

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 強い刺激性がある。

成分の有害性情報

ビスフェノール A 型エポキシ樹脂（液状）

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ = 11,400 mg/kg
急性毒性（経皮）	ラット LD ₅₀ ≥ 1,600 mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギに対する皮膚一次刺激性試験結果、皮膚刺激性について刺激性なしから中等度の刺激性を有する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギに対する眼刺激性試験結果、刺激性なしから軽度の刺激性を有する。
皮膚感作性	ヒトにおける症例研究やボランティア試験の結果、また、モルモットに対する皮膚感作性試験結果及び日本職業・環境アレルギー学会による「皮膚感作性物質」という分類結果から、皮膚感作性を有すると考えられる。

滑石（タルク）

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ > 5,000 mg/kg
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	ヒトでは、乳幼児のタルク吸入事故で、咳、くしゃみ、呼吸困難、息切れ、嘔吐、異物反応、肺の過負荷、呼吸障害、肺炎の報告がある。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	ヒトにおいて、職業ばく露により、肺機能障害、X 線検査において肺の陰影の有症率増加の報告がある。

2, 4, 6 - トリ（ジメチルアミノメチル）フェノール

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ = 1,000-1,340 mg/kg
急性毒性（経皮）	ラット LD ₅₀ = 約 1,280 mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギを用いた試験において（OECD TG 404、GLP）腐食性あり（corrosive）との報告がある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギを用いたドレイス試験で刺激性は重度（severe）との報告がある。

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

成分の環境影響情報

ビスフェノール A 型エポキシ樹脂（液状）

水生環境急性有害性	甲殻類（オオミジンコ）48 時間 $EC_{50}=1.7\text{mg/L}$ から、本物質の水溶解度（ 0.041mg/L ）において当該毒性が発現した可能性が否定できない。
水生環境慢性有害性	情報なし
残留性・分解性	BOD による分解度：0%
生体蓄積性	$BCF \leq 42$
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当する
IBC コード	該当しない

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当する
航空規制情報	該当しない

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

該当しない

特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

化学物質審査規制法	優先評価化学物質（4，4’-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2，3-エポキシプロパンの重縮合物 液状のものに限る）
労働基準法	感作性を有するもの（ビスフェノールA型エポキシ樹脂） 疾病化学物質（ビスフェノールA型エポキシ樹脂及びビスフェノールF型エポキシ樹脂）
労働安全衛生法	変異原性が認められた既存化学物質（ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体）（1重量%以下のものを除く 液状のものに限る） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（シリカ）（0.1重量%以上を含有する製剤その他の物） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（シリカ）（0.1重量%以上を含有する製剤その他の物）
海洋汚染防止法	有害液体物質（X類物質）（ビスフェノール A エピクロロヒドリン樹脂）
じん肺法	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業（シリカ）粉じん

16 その他の情報

参考文献

株式会社 MonotaRO 提供資料

NITE GHS 分類結果一覧（2016）

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2016) TLVs and BEIs.

日本産業衛生学会 (2015) 許容濃度等の勧告

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意下さい。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。